

## 令和4年度 第1回 西尾市社会教育審議会 会議録

日 時	令和4年7月22日（金）午後2時～午後3時55分
場 所	西尾市役所41会議室
出席者	<p>【社会教育委員】 出席：10名（うち1名オンライン参加）、欠席：1名</p> <p>【教育委員会事務局】 稲垣教育長、齋藤教育部長、鈴木生涯学習課長、林文化財課長、齋藤図書館長</p> <p>【交流共創部】 内藤交流共創部長、犬塚観光文化振興課長、石川スポーツ振興課長</p> <p>【事務局】（生涯学習課） 小林課長補佐、鈴木課長補佐、本田主任主査、鈴木主査</p>
傍聴者	0人
発表者	会議の内容は以下のとおり
教育長	<p><b>1 教育長あいさつ</b></p> <p>皆さん、こんにちは。教育長の稲垣でございます。</p> <p>本日は、ご多用のところ第1回社会教育審議会にご参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>また、今年度より新たに9名の方が委員にご就任いただきました。皆様方におかれましては、快く就任をお引き受けいただきまして重ねて感謝を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>さて、本日の会議ですが、その名称のとおり本市の社会教育の在り方についてご審議いただくものであります。昨今、社会教育の重要性は日増しに高まっていると思っています。社会教育が今、生涯学習と名前を変えて、大人が自ら学ぶことが推奨されているわけではありますが、人生百年時代とも言われる中で心身ともに健康で豊かさを感じる生活を送るために生涯学習は欠かすことができない活動となっております。</p> <p>また、一方で、これは個人的な所感ではありますが、現代社会のモラル低下あるいは家庭教育、子育てにも課題があるかと思っております。教育委員会といたしましては、学校教育を終えた後の大人が、その後も自らを向上させることができるような環境整備や啓発に努めていきたいと考えているところであります。</p> <p>本日、委員の皆様方に置かれましては、それぞれのお立場あるいはご見識から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。本日は、よろしくお願いたします。</p> <p>あいさつ後、教育長退席。</p> <p><b>2 自己紹介</b></p> <p>自己紹介の前に事務局から社会教育委員及び社会教育審議会について説明。その後、社会教育委員、教育委員会事務局、交流共創部の順に自己紹介。</p>

	<p><b>3 会長及び副会長の選出</b></p> <p>委員委嘱後、初めての社会教育審議会であるため、社会教育審議会規則第3条の規定により委員の互選にて会長及び副会長の選出を実施。</p>
石川委員	<p>会長には継続して委員をされており見識溢れる「杉浦久男」委員、副会長には学校教育や家庭教育の場ですばらしい講演活動等をされている「森 英子」委員を推薦します。</p> <p>全員の賛同により、会長は杉浦久男委員、副会長は森 英子委員に決定した。お二方を代表し杉浦会長より挨拶。</p>
杉浦会長	<p><b>杉浦会長あいさつ</b></p> <p>私と森委員を会長、副会長にご推挙していただき誠にありがとうございます。今、私は大変身の引き締まる思いでございます。私は、社会教育委員は10年目になります。皆様方より多少経験があるという事でご推挙いただいたわけですが、皆様方のお知恵をお借りして社会教育委員の責務を全うしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>～議事進行を事務局から会長へ移行～</p>
	<p><b>4 議題</b></p> <p>(1) 令和3年度社会教育事業報告について 資料：令和3年度社会教育事業報告書</p>
杉浦会長	<p>議題(1)「令和3年度社会教育事業報告」を議題といたします。 生涯学習課、スポーツ振興課、観光文化振興課、文化財課、図書館の順に説明していただき、その後、委員の皆様から一括してご質問・ご意見を伺いたいと思っております。</p>
各課長	<p>～各課長から資料に沿って説明～</p>
杉浦会長	<p><b>【質疑応答】</b></p> <p>この立場で会を俯瞰して、説明の時間を計りましたら約40分。社会教育審議会は委員の方から意見をいただくのが1つの大きな役割です。従いまして、(2)事業計画については重点のみに絞って説明していただきたい。少しでも委員の声が聞きたい。それが社会教育に市民目線で参画するという事になると思っています。 それでは、委員の皆様、ご質問ご意見をお願いします。</p>
水谷委員	<p>先ほど教育長が市民への啓発という事を言われたが、市民が何に啓発されたいかといった市民のニーズ、市民の気持ちをどのように把握されているか教えてください。</p>
生涯学習課長	<p>各種講座等のアンケートに加え、今年度策定する生涯学習計画のためにアンケート調査を実施しましたので、それを今後の生涯学習の方向性として参考にしたいと思います。</p>

スポーツ 振興課長	講座等参加者の皆様の声をいただくこと。また、スポーツまちづくりビジョン2040の策定をしており、昨年度スポーツに関するアンケート調査を実施しました。それを活かして2040年に向けた計画を策定する予定です。
観光文化 振興課長	イベント等の際にアンケートを実施し市民の方の意見を吸い上げるようにしています。また、今年度、広報広聴課が行う市政世論調査において文化全般と文化会館について質問を挙げさせていただきます。
文化財課長	所管施設の御意見箱や講座などのお客様方からアンケートを頂戴して、ご希望ご関心についてご意見をいただき、次の講座や企画展示の参考にさせていただいています。
図書館長	毎年、利用者を対象にアンケート調査を実施していることと、図書館ではカウンターで常にご意見を頂戴しているのをそれを反映するようしています。 また、今年度、図書館運営基本計画策定を策定してまいります。そのため8月にアンケート調査を実施しますので運営に反映させていきたいと思っております。
水谷委員	若い世代から高齢世代まで様々な意見があり反映が難しいと思ひ質問させていただきました。
大山委員	先ほど説明を聞かせていただいて、私も杉浦会長と同じ意見を持ちました。説明として数値の発表をされたが、数値は資料に書いてあり見れば分かります。また、事前に送られた資料にざっと目を通しています。前年に比べてこれだけの集客があった、だからどうなのかという評価を聞きたいです。目標値に対してどれだけ成果が出たかというところを聞かないと数値の結果の判断は私たちにはつかないので意見は言えません。 令和4年度の事業計画をみると、例えば図書館活動では「1市民当たり7冊目標にします」という素晴らしい文章が書いてある。皆様方が必至に考えていらっしゃると思ひます。これに対してどうだったか、また来年度はこうするという意見をいただき、そのうえで我々が意見を出せればと思っております。
杉浦会長	今の発言についてご意見があれば伺いたいです。
生涯学習 課長	「令和3年度社会教育事業報告」の考察等を説明
杉浦会長	ありがとうございました。次回からそのような説明をお願いします。
丹羽委員	令和3年度に開設されたコンパスについて、これまで相談者が予想以上に多かったということから、今後ますます増加すると思う。相談員の配置など今後の展望はどのようですか。
生涯学習 課長	昨年度の相談者が175人。今年度は4月から3か月間で約200人近い相談者がおり想像以上に多い状況。今年度は相談員を1名増員し4名体制で運営しています。LINEを使った相談や幅広い支援を行っていることと、当事者に寄り添う力に長けているため子ども若者が頼りやすい機関になっています。

森 委員	<p>社会教育や文化は引っ張っていく人がいないとすぐに衰退するものだが、これほど多種多様な行事が生まれ、それに対しての利用者があるということは西尾市は改めていい市だと思いました。</p> <p>特に、図書館で7、8月に児童書を利用している子ども達がすごく多い。児童書の選定が良いこともあると思われます。この児童書、青少年の蔵書を増やしていただきたいというのが希望です。なぜかという、今、大学生を教えているが、高校での教育が多種多様になったためにほとんど文章が書けない。皆様方には想像がつかないと思いますが、論文がほとんど日記。それは読む力がない。高校の教員も書くことをやっていたら教科が進まないで、ほとんどしていないと答えています。本を読むことにより思考が高まり人の気持ちも伝わる。これだけ多くの人が利用しているのならさらに増加していただきたい。</p> <p>また、コンパスについて、不登校・引きこもりの相談が92人。私は1人1人の子どもをもっと大切にすべきだと思います。学校教育と社会教育を一体化し学校に在籍しながら社会教育の事に携われ、ドロップアウトした子を大人の力で回復させてあげるようにしてほしいです。子どもは役に立ちたいという思いが強い。例えば、図書館でボランティアを募集するなどして仕掛けてもらいたいです。不登校になっている子も何かをきっかけに自信を持てば復活できると思います。</p> <p>スポーツと観光ですが、儲ける市になるという視点が必要。西尾市も合併し様々な素養があるのでしたら儲けることができるのかという視点も必要だと思います。</p> <p>私が勤務する日進、長久手では市民ボランティアが多く全国的なモデルにもなっているが、西尾市はボランティアに参加する市民が少ない。これは市への愛着が無いということで市の衰退に繋がる。ゴミ拾いでは、「イヤ」となってしまうが、例えば海でどれだけ貝が拾えるかという事をやりながら、大人がモデルを示し、子どもたちに人の約に立つことを体験させてほしい。子どもの国でもやれると思う。そうすると市に愛着がわくのではないのでしょうか。</p>
杉浦会長	<p>大変示唆に富んだご意見ありがとうございました。様々なキーワードが出てきました。コメントできる課長はいますか。</p>
文化財課長	<p>岩瀬文庫や塩田体験館は、市民ボランティアによってその活動が支えられていると言っても過言ではありません。岩瀬文庫では職員の数に比べてたくさんの行事を行っていますが、それは市民ボランティアの支援なくして行えません。また8万冊を超える古典籍を所蔵しており、保存修復などは職員だけでは追いつきませんが、それも市民ボランティアに支えられている。塩田体験館で伝統的な塩作りを指導してくださるのも市民ボランティアの方々。その方々の楽しく優しい指導が評判を呼び塩田体験のお客様が増えています。</p> <p>儲けに関してですが、岩瀬文庫の企画展示図録や、所蔵の古典籍から意匠を取ったグッズなどを販売しており、幸いにしてご好評をいただいています。それらを通じ実際の原本資料を見に来てもらうきっかけとなるよう岩瀬文庫のPRも兼ねてグッズや展示図録などの作成販売にも力を入れてまいります。</p>
交流共創部長	<p>観光協会につきましては一般社団法人化しておりますので民間と同じ立場にあります。協会に市から協力はしておりますが、市の枠に捉われず仕掛けていける体制にあります。委員がおっしゃられたとおりスポーツと観光は仕掛け方ひとつで十分儲けることは可能と思われます。</p>

<p>杉浦会長</p>	<p>(2) 令和4年度社会教育事業計画について 資料②令和4年度社会教育事業計画書</p> <p>続きまして議題(2)「令和4年度社会教育事業計画」を議題といたします。重点を絞って説明をお願いします。</p> <p>～各課長から資料の重点を説明～</p>
<p>高橋委員</p>	<p><b>【質疑応答】</b> 多くの事業がありすばらしい。それらの事業のPR方法を教えてください。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>広報とホームページ、LINE。内容によっては学校経由でチラシの配布等を行っています。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>他に講座等参加者へチラシ配布を行っています。</p>
<p>観光文化振興課長</p>	<p>他にポスター・チラシを様々な場所へ掲示しています。</p>
<p>文化財課長</p>	<p>他に施設独自のホームページを利用しています。</p>
<p>図書館長</p>	<p>他に「ふみくら」というPR誌を毎月出しています。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>私の勤める「子どもの国」においても興味のない方にどう情報を届けるかが重要だと思っており、今の媒体以外で発信できると若い人たちや今まで参加していない新しい層へ届けられるのではないかと思ってお聞きしました。</p>
<p>石川委員</p>	<p>特別支援学校の学校開放について、障害者スポーツの拠点にしたいという話があり、とてもいいと思いました。具体的に教えてください。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>協議中であるが、土曜、日曜日の昼間が中心になると思われる。障害者スポーツの拠点という考え方からいくと、利用団体に的をあてるのかスポーツの種類を限定するののかという課題があります。また、特別支援学校の体育館は充実しているが、校舎に繋がっているので警備の問題もあり今後調整が必要です。</p>
<p>畔柳委員</p>	<p>子どもがふれあいセンターの茶道教室を利用しているが、高齢者から若い人への伝承が少ないと感じます。今後、世代間の交流がある事業をいれてほしいです。</p> <p>もう1点、2019年内閣府調査によると日本人は自己肯定感が低く最下位。不登校等の対策として社会教育施設を自己肯定感を高める場にしていただきたい。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>世代間交流は是非取り組んでいきたいと思います。また、子どもや若者の居場所というのは本当に必要だと思っているので先ほど話の出たコンパスを中心に取り組んでいきたいです。</p>
<p>大木委員</p>	<p>ふれあいセンター等で講座をたくさん実施しており、素晴らしいと思います。生涯学習という観点からみると、それを次にどう繋げていくかが問題だと思うが、その点をどう考えていますか。</p>

	<p>もう1点は、市外の方と話をすると、西尾は文化が低いと言われる。いろんな事をいろんな方がしているが、表面に表れてこないし、1つ1つがバラバラで繋がっていないと感じます。私も「茨木のり子の会」をやっているが、全国的には知られているが西尾の方にはなかなか知られてない。文化は儲からないというのはあり私もどのようにしたら文化に力をいれていけるのかと考えているが、そこはどのように考えているか聞かせてほしいです。</p>
生涯学習課長	<p>前半の生涯学習についてですが、講座を受けた方がサークルや団体を作りその後、活動を継続していく形が1つ。もう1つは地域課題に対して解決策や対応策というのを考えながら地域に還元していくという形が生涯学習の姿としてはあると思います。</p> <p>地域課題に対して講座や教室で学びながら自分にどんな役割ができるのか考えるというのも生涯学習の1つと考えています。</p>
杉浦会長	<p>他市から見ると文化が低いのではないかという意見が出ました。この会にとっても大きな問題。これについては今後どこかで議論をしたいと思います。</p>
田中委員	<p>先日、一色学びの館で神谷伝兵衛の講座に参加しました。この様な人が一色から出たというような事を多くの市民の皆さんに知っていただきたい。高橋委員が質問された、集客や情報発信の方法については非常に興味があり重要な事だと思います。</p>
高橋委員	<p>西尾城大手門跡整備について、今の子どもたちが自分の街に誇りを持ち大人になって西尾市で活躍してくれるといいと思います。造って終わりというものが散見されるので、史跡公園広場を整備後も活用される広場にしていきたい。現状、計画があれば教えてください。</p>
文化財課長	<p>公園整備後の具体的な計画はまだありませんが、ただ史跡として保存するだけではもったいないと思います。西尾駅からお城などをご覧になった後、岩瀬文庫まで到達していただく観光周遊ルートの拠点の1つとして活用していただけるようなあり方を協議しながら進めたいと思います。また、公園整備前に発掘調査を予定しているが、近くの西尾小学校の児童などを発掘現場へ招待するなど整備前からの活用も考えております。</p>
杉浦委員	<p>他にご質問等もないようですので、これで議事を終了させていただきます。皆さま、長時間にわたり、ご審議をいただきありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
	<p><b>5 その他</b>  <b>(1) 愛知県社会教育委員連絡協議会表彰について</b></p>
事務局	<p>本日ご出席していただいております杉浦久男委員が、令和4年6月3日付けで愛知県社会教育委員連絡協議会から表彰されました。これは、社会教育委員として、長年活躍され地域社会教育へ貢献いただけたことが高く評価され、今回の受賞に至ったものでございます。</p> <p>以上で会議終了 終了時間午後3時55分</p>